

# 平成29年度 事業計画書

2018年（平成29年）4月1日～2019年（平成30年）3月31日  
 特定非営利活動法人吉備野工房ちみち

## 1. 事業実施の方針

2008年5月「地域の人・文化・歴史を活かした新しいまちのかたちを創る」をビジョンに掲げ創立、今年で10年目に入る節目を迎えることができた。

事業を継続の成果についても第三者機関との研究も進み、地域活性化学会誌に論文掲載（※1）され、「地域活性化の定義における情緒的価値において、みちくさ小道は効果がある」と明言できる結果が得られた。

10年間で多くの人材を輩出してきたみちくさ小道事業を振り返り、達人一人ひとりの変化を再調査し、効果が認められるものは、これまでの実績を踏まえ、再発信、これからの十年の礎にする。今年度はさらに、NPO本来の役割でもある地域づくりにおいて、情緒的価値が地域を活性化することを政策提言（アドボカシー）しながら実践していく。

また、これまで「みちくさ小道」「一人一品」運動で培った実績を踏まえ、さらなる地域資源の発掘、地域の人材育成、行政と市民、企業と市民の交流など、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）を高めるプラットフォームとなるべく、個人と地域の双方を俯瞰的にとらえ、地域の潜在的な力を掘り起こし、個人及びこの地域ならではの価値を深め、つながりを生む活動に取り組んでいく。

（※1）慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究所との共著により、「主観的幸福の4因子モデルに基づく人と地域の活性化分析—NPO法人吉備野工房ちみちのみちくさ小道を事例に—」

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	事業内容	実施 予定日時	実施 予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲及び予定 人数	支出見込額 (千円)
<b>1. まちづくりに関するプロデュース事業</b>						
Well Being リトリート	一人ひとりのやりたいことをやれたという実践知識練習場の提供	平成29年12月～平成30年2月	総社市、他	5人	会員・一般 250人	680
地域ソムリエ研修	地域リーダーを支えるサーバントリーダーシップに必要な考え方や実践を提供する。観る力・聴く力・問う力を付ける方法を学ぶ。	平成29年5月～平成30年3月	総社市、他	3人	会員・一般 100人	520
総社地区道路施設点検研修	重症事象から点検事象に意識を変えていく研修を提供する	平成29年7月～平成30年3月	岡山県	6人	会員・一般 120人	300
JICA研修	地域開発のためのコミュニティ・ベイスト・アントレプレナーシップ研修	平成29年4月～平成30年3月 年7回	岡山県	2人	会員・一般 120人	100
10周年に向けて準備会	【自主】10周年に向けての企画	通年	総社市	5人	理事全員	80

みちくさ小道の実 践事例集	10年間の達人の変化を振 り返る	通年	岡山県	2人	理事	100
研究事業	【慶應大学と共同研究】 実践知が地域活性化つな がる研究	通年	事務所	4人	会員・一般 200人	100
東北復興支援事業	【WITとの共同】人と心と 繋がる組織づくり（東北 支援）	年6回	東北	2人	会員・一般 50人	400

2. まちづくりに関するイベント・セミナー事業						
吉備野生活文化 体験博物館 (吉備野あそび ミュージアム)	吉備野文化の発信・心豊かな生活等についての申込み型の体験プログラムの提供。	通年	総社市、 他	3人	会員・一般 200人	450
相談事業	まちづくりの悩みは個人のやりたいことの相談を受ける	年6回	事務所、 他	3人	会員・一般 100人	50
ちみち交流会	対話の場、交流の場（月1回日曜日）	年10回	事務所	6人	一般 300人	200
3. まちづくりに関する情報発信事業						
ちみち便り	3ヶ月に1回活動報告を行う	3ヵ月に1回	総社市、 他	3人	会員・一般 1,000人	30
WEB情報発信	FB、HPで情報発信	通年	総社市	3人	会員・一般 1,000人	20
4. まちづくりを推進する商品開発事業						
雪舟の涙	宝福寺限定販売の雪舟の涙の販売	通年	総社市、 他	2人	会員・一般 50人	150
しまんと新聞ばっぐ商品開発	しまんと新聞ばっぐのノウハウを活かして「もったいない」「折り紙」の文化を伝える	年10回	総社市、 他	2人	会員・一般 50人	100
5. その他の事業						
理事会	1ヶ月に1回	通年	事務所	6人	理事36人	5